

## (農)つくば銀杏生産組合

石岡市

石岡市のつくば銀杏ぎんなん生産組合(櫻井和伯代表理事)は、ギンナン採取向けのイチヨウの苗木やギンナンの生産・販売を行っている。

同組合は、イチヨウの苗木を生産・販売していた櫻井代表が中心となつて、顧客でもあるギンナン生産農家と2002年に設立したもの。

ここで生産されているイチヨウの苗木は、大玉ギンナンといわれる栽培種5品目(金兵衛、藤九郎、久寿、喜平、米進)を接ぎ木したもの。それを、4年間から10年間育成してから販売している。これは、「ギンナンは、結実まで数十年かかります。生産農家が1年でも早く収入を得られるようにと考えてのこと」で

す。すでに結実済みのものもある」(櫻井代表)からだ。

「ギンナンには、高血圧・動脈硬化予防や糖尿病、認知症などに効果があるといわれている。その上、手間がかからず、

完全無農薬栽培、台風などの被害も少ないなど有望な果実」と櫻井代表は将来性を挙げる。

現在の組合員は40人。県南、県西を中心に広がっており、栽培面積も約30畝にまで伸びている。

そこで、同組合では「安全で安心なギンナンであることを消費者に分かってもらうために、外部からのお墨付けでもあるGAP(農業生産工程管理)の認証も受けた」(櫻井代表)。さらに、組合員が付加価値を享受できるようにと、加工施設を数年後に導入する計画を立てている。そのため、パスタやラーメン、和洋菓子などに幅広く利用できるペーストにするなど食品加工業向けの素材として研究を重ねている。また、素材だけでなく、消費者に直接届けられる商品の開発も櫻井代表の視野に入っている。

## ギンナン生産者増に貢献 農家収入考え加工も視野

## 元気印の 農業法人



ギンナンの将来性を信じ挑戦する櫻井代表(左)と青年部会長の藤岡潤さん